

別記  
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 府 知 事	2023年 6月30日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 北海道札幌市苗穂町6丁目1番1号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 雪印メグミルク株式会社 代表取締役社長 佐藤 雅俊

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001：2015（BSIグループジャパン株式会社認証）
適 用 範 囲	牛乳及び加工食品（ヨーグルト、クリーム、デザートなど）の生産
導 入 年 月 日	2005年12月15日（最終更新日2021年11月24日）
認 証 番 号	EMS99990
基 本 方 針	別紙環境方針参照
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ol style="list-style-type: none"> <li>エネルギー原単位の削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>前年1%以上削減（63.52KL/千t以下）</li> </ul> </li> <li>廃棄物発生量削減 <ul style="list-style-type: none"> <li>前年比1%削減（939.1t以下）</li> </ul> </li> <li>廃棄物リサイクル率前年実績以上 <ul style="list-style-type: none"> <li>100%維持</li> </ul> </li> <li>水資源の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> <li>用水使用量削減6,957t削減</li> </ul> </li> </ol>
目標を達成するための取組の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>エネルギー原単位の削減 <ol style="list-style-type: none"> <li>工場照明LED化による電力使用量削減</li> <li>製品冷蔵庫更新による電力使用量削減</li> <li>エアリーク修理によるエネルギー使用量削減</li> </ol> </li> <li>廃棄物総量前年比発生量前年比1%削減（1029.0t以下）</li> <li>廃棄物リサイクル率前年実績以上（100%維持）</li> <li>パレット洗浄機再利用水の仕様変更、ボイラ連ブロー量の調整</li> </ol>
目標を達成するための取組の進捗状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>エネルギー原単位の削減 <ol style="list-style-type: none"> <li>工場照明LED化による電力使用量削減</li> <li>製品冷蔵庫3台更新完了（R22→R410Aに更新）</li> <li>エアリーク修理実施</li> </ol> </li> <li>廃棄物発生量の数値細分化に向けての活動開始</li> <li>廃棄物分別の徹底</li> <li>パレット洗浄機再利用水の仕様変更、ボイラ連ブロー量の調整実施完了</li> </ol>
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<ol style="list-style-type: none"> <li>エネルギー原単位 61.58KL/千t 【目標達成】</li> <li>廃棄物発生量 861.46t 【目標達成】</li> <li>廃棄物リサイクル率100%維持 【目標達成】</li> <li>水使用量 10,048t削減 【目標達成】</li> </ol> <p>原単位は生産量が前年比104%と増加した影響と各省エネ施策により目標を達成することとなった。廃棄物量は排水負荷の減少により汚泥排出量が減少し目標達成となった。水使用量は施策の取組みにより削減</p>
事業活動に係る法令の遵守の状況	関係法規遵守状況は1年に1回確認を実施、環境内部、外部監査も定期的の実施されており特に問題ない状況である。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2022年度は省エネ設備への更新など各施策の取組を実施完了することにより目標を達成することができた。生産量が増加する中でも各エネルギー使用量が削減しているのは省エネ活動の効果の表れである。2023年度は全社環境目標として廃プラ排出量削減の活動も加わる事から廃棄物の更なる分別に力を入れていきたい。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。